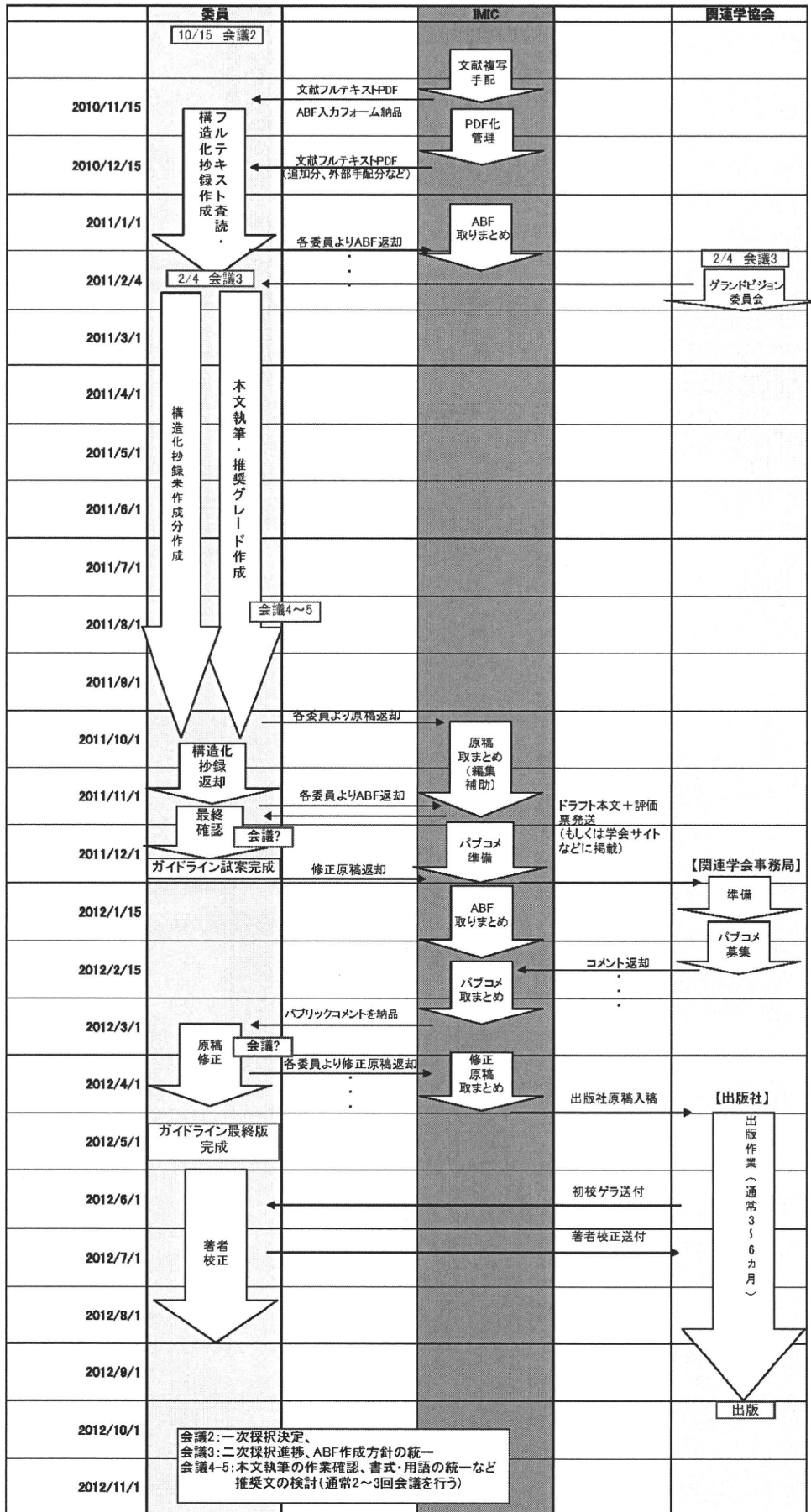


Step	初年度の作業	工数		状態	項目	内容	担当
		開始	終了				
Step 1	全体の構成確認	1.1	4月1日 5月7日	Done	ガイドラインの構成決定	作成の目的・対象・利用者の確定、ガイドラインの章立て決定	委員長
		1.3	5月7日 5月7日	Done	各委員の担当領域の決定	エビデンスとなる文献探検及び本文(Scientific Statement、推奨文、推奨グレードを含む)作成担当領域の決定	委員会で討議
		委員会 第一回	5月7日 18:00~19:30	Done	構成と担当領域の決定		
委員会	Web掲示板	1.2	5月7日 6月15日	Done	CQ(Clinical question)の決定	現状の臨床現場における重要なquestionに沿って作成	委員会で討議
			6月15日 7月1日	不切	CQとキーワード決定と一次選択基準の設定		
Step 2	文献検索	2.1	7月上旬 7月上旬	Done	文献検索のキーワード決定	商用データベースによる検索のための検索式を決定	委員会/IMC
		2.2	7月上旬 8月上旬	Done	検索プランニングと代行検索	海外文献: Medline、CochraneDB 国内文献: 医中誌、リハビリ領域: PEDro	IMICによる代行検索
					検索プランニングと代行検索	Cochraneは委員長が自身で検索	委員長
		2.3	8月上旬 8月20日	Done	一次選択作業フォーム(MEDLINE)作成	検索結果を取り込み、CQ別、担当別に専用ガイドラインサイトにアップ	IMC
			8月23日 8月31日	Done	一次選択作業フォーム(医中誌)作成		IMC
			8月23日 8月31日	Done	一次選択作業フォーム(Cochrane)作成	一次選択は辻先生	
			8月23日 8月31日	Done	一次選択作業フォーム(PEDro)作成	一次選択は辻先生	委員長/IMC
Step 3	文献一次探検	3.1	8月上旬 8月6日	Done	一次選択基準と除外基準の作成	検索結果からよりエビデンスレベルの高い文献を絞り込む	委員会/IMC
		3.2	8月16日 9月30日	Done	文献一次選択(MEDLINE)	検索結果の文献タイトル、著者抄録を査読し、フルテキストを取り寄せる文献を選択 探検結果をガイドライン専用サイトにアップ	各領域担当委員
			9月1日 9月30日	Done	文献一次選択(医中誌)		各領域担当委員
			9月25日	Done	文献一次選択(Cochrane、PEDro)	一次選択は辻先生	委員長
			9月15日 10月15日	Done	二次選択用データベースの準備	リハ医学会のフォームに順ずるレイアウトで作成	IMIC
委員会	第二回	10月15日 18:00~	Done	一次選択結果の検討とABF項目と二次選択基準の設定			
Step 4	文献複写手配	4.1	10月15日 12月15日	Done	複写手配	一次探検文献のフルテキスト取り寄せ	
						英文文献は、慶應義塾大学で手配	
						医中誌文献は、IMICで一括手配	
		4.2	12月15日	Doing	PDF管理	PDF化してガイドライン専用サイトで一元管理	IMC
						PDF化した文献をガイドライン専用サイトにアップ	
	4.3		Done	追加検索	検索漏れなどの確認、委員による文献の追加	委員会/IMC	
					先生方がハンドサーチした文献は、都度委員長の許可を得て、GL専用サイトにアップ		
		11月中旬	Done	フルテキスト手配とPDF管理状況確認			
Step 5	構造化抄録作成	5.1	11月15日 12月15日	Done	アブストラクト入力フォーム作成	二次選択作業のもととなる作業フォーム作成(FileMaker Pro10)	IMC
					フォームの配布	各章に分けた作業用フォームを各担当委員へ配布	
		5.2	12月上旬 1月下旬	Doing	アブストラクトフォーム仮執筆	フルテキストをもとに構造化抄録作成	各領域担当委員

Step	工数	状態	項目	内容	担当
委員会 第三回	2月4日	予定	構造化抄録の中間報告		
	2月5日 3月中旬	12週	アブストラクトフォーム執筆	フルテキストをもとに構造化抄録作成	各領域担当委員
Step 6 文献二次選択	6.1 1月 3月	12週	二次選択(本文に引用する文献選択)	構造化抄録、アブストラクトテーブルを参考に、エビデンスとなる文献の探択	各領域担当委員
Step 7 本文執筆	7.1		アブストラクトテーブル作成	探択した文献の内容を研究デザインごとに一覧表にする	IMC
	7.2		サイエンティフィック・ステートメント(解説文)執筆	エビデンス文献からCQに沿ったコメント・解説を記載	各領域担当委員
	6.3	12週	エビデンスレベル決定	研究デザイン、サンプル数、統計手法、追跡率などに基づき、文献のエビデンスレベルを判定	委員会/DMIC
	7.3		推奨の執筆	CQに対する結論といった形で推奨を作成、	各領域担当委員
			推奨グレードの決定	推奨グレードを記載、その根拠となった文献の内容をエビデンスレベルとともに記載、その根拠となった文献の内容をエビデンスレベルとともに記載	各領域担当委員
委員会	予定	予定	二次選択結果の検討とエビデンスレベルの決定		
	7.4		本文の作成	CQ、推奨の他、序文、作成方法、アルゴリズムなどを作成	担当委員
委員会	予定	予定	二次選択結果の検討とエビデンスレベルの決定		
Step 8 ガイドライン試案の完成	8.1 2011年12月		委員会として本文を検証、試案を作成	全体のバランス、CQに合致しているか、推奨グレード、エビデンスとなる文献の確認、エビデンスレベルの確認など	委員会で討議
	8.2 2011年12月		本文とアブストラクトフォームの照合・校正	アブストラクトフォームのばらつき、重複アブストラクトフォームの整合性、エビデンスレベルの照合など	委員会/DMIC
Step 9 関連学会への回覧	2012年以降		パブリックコメントの取りまとめ	評価期間は通常約1~3ヶ月	委員会/DMIC
	2012年以降		グランドビジョン作成		
Step 10 最終版の完成			評価の反映	寄せられたコメントを反映するか決定	委員会で討議
	印刷・製本			出版社編集部と初校、再校などの工程を経て刊行	

(配布資料No3)がんのリハビリテーションガイドライン2010～11年 スケジュール(案)



## 資料4：クリニカルクエスチョン（CQ）一覧

小項目	CQ	担当委員
総論・疫学・評価		辻 哲也 (慶應義塾大学医学部)
CQ1	がんのリハビリテーションに関するエビデンスに関して、世界の動向は？ (世界のガイドラインの数と内容)	
CQ2	がん患者の全身機能、ADL、QOL 評価の方法は？	
CQ3	がん患者に対するリハビリテーション治療は、実施しない場合に比べて、機能障害の改善、ADL 向上、QOL 向上、生命予後、生存期間の向上をもたらすのか？	
小項目		担当委員
食道がん、肺がん、縦隔腫瘍、胃がん、肝臓がん、胆嚢がん、膵臓がん又は大腸がんを診断され、当該入院中に閉鎖循環式全身麻酔によりがんの治療のための手術が行われる予定の患者又は行われた患者		田沼 明 (静岡県立静岡がんセンター) 水間 正澄 (昭和大学藤が丘リハビリテーション病院)
CQ1	開胸・開腹術を施行される患者の術前に呼吸リハビリテーションの指導をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の呼吸器合併症が減るか？	
CQ2	開胸・開腹術を施行される患者の術前に禁煙の指導をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の呼吸器合併症が減るか？	
CQ3	開胸・開腹術を施行される患者の周術期に腹式呼吸の指導をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の呼吸器合併症が減るか？	
CQ4	開胸・開腹術を施行される患者の周術期にインセンティブ・スパイロメトリーを用いた呼吸訓練をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の呼吸器合併症が減るか？	
CQ5	開胸・開腹術を施行される患者の周術期に排痰訓練をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の呼吸器合併症が減るか？	
CQ6	開胸・開腹術を施行された患者に呼吸介助をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の呼吸器合併症が減るか？	
CQ7	開胸・開腹術を施行された患者に体位ドレナージをおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の呼吸器合併症が減るか？	
CQ8	開胸・開腹術を施行された患者に気管支鏡による排痰をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の呼吸器合併症が減るか？	
CQ9	開胸・開腹術を施行された患者に呼気陽圧や気道内陽圧を発生させる器具による排痰をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の呼吸器合併症が減るか？	
CQ10	開胸・開腹術を施行された患者に早期離床をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の呼吸器合併症が減るか？	
CQ11	開胸・開腹術を施行された患者に早期離床をおこなうと、おこなわない場合に比べて退院までの期間が短縮するか？	
CQ12	胸部食道癌の周術期に嚥下リハビリテーションをおこなうと、おこなわない場合に比べて肺炎の発症率が減るか？	
CQ13	胸部食道癌の周術期に嚥下リハビリテーションをおこなうと、おこなわない場合に比べて退院までの期間が短縮するか？	
CQ14	胸部食道癌の周術期に持久力訓練をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の体力の回復に要する期間が短縮するか？	
CQ15	胸部食道癌の周術期に持久力訓練をおこなうと、おこなわない場合に比べて術後の QOL が高いか？	
CQ16	胸部食道癌の周術期に持久力訓練をおこなうと、おこなわない場合に比べて退院までの期間が短縮するか？	

小項目	CQ	担当委員
	舌がん、口腔がん、咽頭がん、喉頭がん、その他頸部リンパ節郭清を必要とするがんにより入院し、当該入院中に放射線治療若しくは閉鎖循環式全身麻酔による手術が行われる予定の患者又は行われた患者	鶴川 俊洋（国立病院機構 鹿児島医療センター） 辻 哲也（慶應義塾大学医学部）
CQ1	舌がん・口腔がん患者において、術前および術後早期の摂食嚥下機能訓練を行うと、行わない場合に比べて、早期に経口摂取が可能になる。	
CQ2	舌がん・口腔がん術後の構音障害に対する構音訓練は、それを行わない場合に比べて、構音障害を改善させる。	
CQ3	舌がん・口腔がん術後の構音障害・嚥下障害に対して、PAP・PLPなどの補装具を使用することは、使用しない場合に比べて、その障害が改善する。	
CQ4	咽頭がん患者において、術前および術後早期の摂食嚥下機能訓練を行うと、行わない場合に比べて、早期に経口摂取が可能となる。	
CQ5	咽頭がん患者において、術前および術後早期の摂食嚥下機能訓練を行うと、行わない場合に比べて、誤嚥性肺炎を起こす危険性が低下する。	
CQ6	気管切開術を併用した咽頭がん術後患者に対する経口摂取訓練は、気管切開孔閉鎖後に実施した方が、気管切開孔閉鎖前よりも、安全かつ早期の経口摂取獲得につながる。	
CQ7	咽頭がん患者において、咽頭食道形成（再建）術を行った場合の術後嚥下障害に対し、早期の嚥下造影検査および嚥下内視鏡検査は、安全で有用である。	
CQ8	喉頭がん患者において、喉頭全摘出術術後早期から摂食嚥下機能訓練を行うと、行わない場合に比べて、早期に経口摂取が可能になる。	
CQ9	喉頭がん患者における喉頭全摘出患者に対して、術前に人工喉頭の使用方法を説明すると、説明しない場合に比べて、早期に代用音声獲得が可能になる。	
CQ10	喉頭がん患者における喉頭全摘出患者における発声障害に対して、気管食道瘻発声の訓練を行うことは、行わない場合に比べて、良好なコミュニケーションが可能となる。	
CQ11	喉頭がん患者における喉頭全摘出患者における発声障害に対して、シャント発声の訓練を行うことは、行わない場合に比べて、良好なコミュニケーションが可能となる。	
CQ12	頸部リンパ節郭清後の副神経麻痺（または僧帽筋麻痺）が予想される頭頸部がん患者において、術前および術後早期に肩関節機能訓練を行うと、行わない場合に比べて、早期に肩関節周囲の筋力および肩関節可動域が改善する。	
CQ13	頭頸部がん患者の放射線治療中に生じる嚥下障害に対して、摂食嚥下機能訓練を併用することは、併用しない場合に比べて、経口摂取量を保つことができる。	
CQ14	頭頸部がん患者の放射線治療中に生じる体力低下に対して、運動療法を併用することは、併用しない場合に比べて、ADLを保つことができる。	

CQ15	頭頸部がん患者の放射線治療中に生じる嚥下障害に対して、摂食嚥下機能訓練を併用することは、併用しない場合に比べて、経口摂取量を保つことができる。	
CQ16	頭頸部がん患者の摂食嚥下障害及び栄養不良に対して、一時的に胃ろうからの注入食で栄養管理を行うことは、十分でない経口摂取のみで対応する場合に比べて、栄養状態及びQOLを維持できる。	
CQ17	頭頸部がん領域の構音・嚥下・発声、肩の問題に対する機能障害、ADL、QOLの標準的な評価法について	
<b>小項目</b>	<b>CQ</b>	<b>担当委員</b>
	乳がんにより入院し、当該入院中にリンパ節郭清を伴う乳房切除術が行われる予定の患者又は行われた患者で、術後に肩関節の運動障害等を起こす可能性がある患者	村岡 香織（済生会神奈川県病院）
CQ1-①	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、患肢の使用制限（重いものを持たない、使いすぎないなど）は、それらを行わない例に比して、上肢筋力・使用頻度の維持・改善を改善させるか？	
CQ1-②	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、患肢の使用制限（重いものを持たない、使いすぎないなど）は、それらを行わない例に比して、肩痛の予防・改善を改善させるか？	
CQ1-③	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、患肢の使用制限（重いものを持たない、使いすぎないなど）は、それらを行わない例に比して、リンパ浮腫予防を改善させるか？	
CQ1-④	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、患肢の使用制限（重いものを持たない、使いすぎないなど）は、それらを行わない例に比して、ADL維持・向上を改善させるか？	
CQ1-⑤	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、患肢の使用制限（重いものを持たない、使いすぎないなど）は、それらを行わない例に比して、QOL維持向上を改善させるか？	
CQ1-⑥	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、周術期の（リンパ浮腫予防のための）セルフマッサージの指導・弾性着衣（スリーブ）の装着は、それらを行わない例に比して、肩関節可動域の維持を改善させるか？	
CQ1-⑦	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、周術期の（リンパ浮腫予防のための）セルフマッサージの指導・弾性着衣（スリーブ）の装着は、それらを行わない例に比して、上肢筋力・使用頻度の維持・改善を改善させるか？	
CQ1-⑧	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、周術期の（リンパ浮腫予防のための）セルフマッサージの指導・弾性着衣（スリーブ）の装着は、それらを行わない例に比して、肩痛の予防・改善を改善させるか？	
CQ1-⑨	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、周術期の（リンパ浮腫予防のための）セルフマッサージの指導・弾性着衣（スリーブ）の装着は、それらを行わない例に比して、リンパ浮腫予防を改善させるか？	
CQ1-⑩	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、周術期の（リンパ浮腫予防のための）セルフマッサージの指導・弾性着衣（スリーブ）の装着は、それらを行わない例に比して、ADL維持・向上を改善させるか？	

CQ1-⑪	腋窩リンパ節郭清を伴う乳房切除術において、周術期の（リンパ浮腫予防のための）セルフマッサージの指導・弾性着衣（スリーブ）の装着は、それらを行わない例に比して、QOL維持向上を改善させるか？	
CQ2-①	腋窩リンパ節郭清を伴わない（センチネルリンパ節生検のみなど）乳房切除術において、周術期の肩関節可動域訓練は有効か？（必要か？）	
CQ2-②	腋窩リンパ節郭清を伴わない（センチネルリンパ節生検のみなど）乳房切除術において、周術期の上肢筋力増強訓練は有効か？（必要か？）	
CQ2-③	腋窩リンパ節郭清を伴わない（センチネルリンパ節生検のみなど）乳房切除術において、患肢の使用制限（重いものを持たない、使いすぎなど）は有効か？（必要か？）	
CQ2-④	腋窩リンパ節郭清を伴わない（センチネルリンパ節生検のみなど）乳房切除術において、周術期の（リンパ浮腫予防のための）セルフマッサージの指導・弾性着衣（スリーブ）の装着は有効か？（必要か？）	
CQ3-①	術後の放射線治療（特に腋窩照射）において、周術期の肩関節可動域訓練は有効か？（必要か？）	
CQ3-②	術後の放射線治療（特に腋窩照射）において、周術期の上肢筋力増強訓練は有効か？（必要か？）	
CQ3-③	術後の放射線治療（特に腋窩照射）において、患肢の使用制限（重いものを持たない、使いすぎなど）は有効か？（必要か？）	
CQ3-④	術後の放射線治療（特に腋窩照射）において、周術期の（リンパ浮腫予防のための）セルフマッサージの指導・弾性着衣（スリーブ）の装着は有効か？（必要か？）	
CQ4	術後、肩関節可動域訓練の開始を遅らせること（術後4-5日後以降）は、術直後からの肩関節可動域訓練の開始に比して、短期的な outcome（創治癒など）および長期的な outcome（ROM, ADL, QOL）を改善させるか？	
CQ5	乳がん術後もしくは放射線治療後の患者に対し、PT などセラピストが介入して関節可動域訓練などリハビリを行うことは、テキストなどを見ながら自主トレーニングを行うことに比し、outcomeを改善させるか？	
<b>小項目</b>	<b>CQ</b>	<b>担当委員</b>
	骨軟部腫瘍又はがんの骨転移に対して、当該入院中に患肢温存術若しくは切断術、創外固定若しくはピン固定等の固定術、化学療法又は放射線治療が行われる予定の患者又は行われた患者	宮越 浩一（亀田総合病院） 辻 哲也（慶應義塾大学医学部）
<b>項目 1</b>	<b>1. 原発性骨軟部悪性腫瘍に対して</b>	
CQ1	肢温存術，下肢切断術，化学療法，放射線療法における、リハビリテーションの効果	
CQ2	肢温存術，下肢切断術，化学療法，放射線療法において、どのような評価が必要か	
CQ3	肢温存術，下肢切断術，化学療法，放射線療法において、どのような症例に対して適応か	
CQ4	生存期間を延長するか	
CQ5	入院期間を短縮するか、自宅退院率を向上するか	
CQ6	歩行能力・ADL・QOLを向上するか？	
CQ7	切断部位・方法の選択（どの長さが適切か）	
<b>項目 2</b>	<b>2. 転移性骨腫瘍に対して</b>	
CQ1	病的骨折の予測は可能か	
CQ2	切迫骨折の定義、どのような症例に骨折が多いか（リスクスコアなども）	
CQ3	予防的手術を行うことは、効果があるか（骨折を予防できるか、ADL・QOLを改善するか、骨折・麻痺の予防は可能か）	



CQ4	訓練介入による効果	
CQ5	補装具の効果（コルセット、functional brace など）	
CQ6	放射線療法の効果	
CQ7	ビスフォスフォネート製剤、そのほか薬剤の効果	
CQ8	ビスフォスフォネート製剤、そのほか薬剤の効果、どのような評価が必要か	
CQ9	ビスフォスフォネート製剤、そのほか薬剤の効果、どのような症例に適応か	
CQ10	生存期間を延長するか	
CQ11	入院期間を短縮するか、自宅退院率を向上するか	
CQ12	歩行能力・ADL・QOL を向上するか	
CQ13	切断部位・方法の選択は何か（どの長さが適切か）	
小項目	CQ	担当委員
	原発性脳腫瘍又は転移性脳腫瘍の患者であって、当該入院中に手術若しくは放射線治療が行われる予定の患者又は行われた患者	生駒 一憲（北海道大学病院）
CQ1	脳腫瘍〔脊髄腫瘍〕（P）の術前リハビリテーションは（I）術後にリハビリテーションを始めるより（C）効果的か（O）？	
CQ2	脳腫瘍〔脊髄腫瘍〕に対する（P）周術期（術前・術後）リハビリテーションは（I）、リハビリテーションを行わないときと比べて（C）、機能障害の改善、認知障害の改善、入院期間の短縮、術後の歩行能力、ADL 向上、QOL 向上に有効か（O）？	
CQ3	悪性脳腫瘍に対する（P）リハビリテーションは（I）良性腫瘍のときと比べて（C）機能予後、ADL 向上、入院期間短縮、在宅復帰率が劣るか（O）？	
CQ4	脳腫瘍〔脊髄腫瘍〕のサイズが大きい場合の（P）リハビリテーションは（I）サイズが小さい場合に比べて（C）リハ効果が劣るか（O）？	
CQ5	脳腫瘍〔脊髄腫瘍〕に対する（P）介護支援サービス導入は（I）導入しないときと比べて（C）在宅復帰率を向上させるか（O）？	
CQ6	脳腫瘍〔脊髄腫瘍〕による対麻痺に対する（P）プッシュアップ訓練は（I）行わない時と比べて（C）移乗能力を改善できるか（O）？	
CQ7	脳腫瘍〔脊髄腫瘍〕による麻痺側下肢に対する（P）短下肢装具使用は（I）、使用しないときと比べて（C）歩行能力向上に有効か（O）？	
CQ8	脳腫瘍による嚥下障害に対する（P）嚥下リハビリテーションは（I）嚥下リハを行わないときと比べて（C）経口摂取可能な期間を延長できるか（O）？	
CQ9	脳腫瘍による嚥下障害に対する（P）嚥下リハビリテーションは（I）嚥下リハを行わないときと比べて（C）誤嚥性肺炎発生率を低下させるか（O）？	
CQ10	脊髄腫瘍の神経因性疼痛に対する（P）経皮的電気刺激療法（TENS）は（I）TENS を行わないときと比べて（C）疼痛を軽減するか（O）？	
CQ11	脳腫瘍による症候性てんかん発作の（P）コントロールは（I）、発作がコントロールされていないときと比べて（C）ADL を向上させるか（O）？	
CQ12	脳腫瘍に対する（P）周術期（術前・術後）の補助療法（放射線療法または化学療法）は（I）補助療法をしないときに比べて（C）リハビリテーション効果（機能障害・ADL の改善、入院期間、転帰）に差があるか（O）？	
CQ13	脳腫瘍に対する（P）ガンマナイフ治療は（I）、ガンマナイフ治療をしないときに比べて（C）リハビリテーション効果（機能障害・ADL の改善、入院期間、転帰）に差があるか（O）？	
CQ14	脳腫瘍に対する（P）リハビリテーションは（I）脳卒中のときと比べ	

	て (C) リハ効果 (機能障害・ADL の改善, 入院期間, 転帰) に差があるか?	
CQ15	転移性脳腫瘍〔脊髄腫瘍〕で骨転移があるときの (P) リハ処方 (I) 骨転移がないときと比べて (C) どう変えるべきか (O) ?	
<b>小項目</b>	<b>CQ</b>	<b>担当委員</b>
	血液腫瘍により、当該入院中に化学療法若しくは造血幹細胞移植が行われる予定の患者又は行われた患者	佐浦 隆一 (大阪医科大学)
CQ1	血液腫瘍に対して入院中に造血幹細胞移植が行われる予定の患者に対し (P)、化学療法・造血幹細胞移植の前後に運動療法を行うと (E)、行わない場合に比べて (C)、副作用としての拒絶反応や GVHD の発症を抑えることができるか? (O)	
CQ2	血液腫瘍に対して入院中に造血幹細胞移植が行われる予定の患者に対し (P)、化学療法・造血幹細胞移植の前後に運動療法を行うと (E)、行わない場合に比べて (C)、骨髄移植の効果 (生着までの期間、生着率、入院期間、健康関連寿命、生命予後、QOL) を改善することができるか? (O)	
CQ3	同種造血幹細胞供与者 (ドナー) に対し (P)、造血幹細胞採取の前後に運動療法を行うと (E)、行わない場合に比べて (C)、身体合併症 (嘔吐、嘔気、食欲不振、全身倦怠、その他) あるいは廃用症候群の発症を減らすことができるか? (O)	
CQ4	血液腫瘍に対して入院中に造血幹細胞移植が行われる予定の患者に対し (P)、化学療法・造血幹細胞移植の前後に物理療法を行うと (E)、行わない場合に比べて (C)、副作用としての拒絶反応や GVHD の発症を抑えることができるか? (O)	
CQ5	血液腫瘍に対して入院中に造血幹細胞移植が行われる予定の患者に対し (P)、化学療法・造血幹細胞移植の前後に物理療法を行うと (E)、行わない場合に比べて (C)、骨髄移植の効果 (生着までの期間、生着率、入院期間、健康関連寿命、生命予後、QOL) を改善することができるか? (O)	
CQ6	同種造血幹細胞供与者 (ドナー) に対し (P)、造血幹細胞採取の前後に物理療法を行うと (E)、行わない場合に比べて (C)、身体合併症 (嘔吐、嘔気、食欲不振、全身倦怠、その他) あるいは廃用症候群の発症を減らすことができるか? (O)	
CQ7	血液腫瘍に対して入院中に造血幹細胞移植が行われる予定の患者に対し (P)、化学療法・造血幹細胞移植の前後に作業療法 (患者教育を含む) を行うと (E)、行わない場合に比べて (C)、副作用としての拒絶反応や GVHD の発症を抑えることができるか? (O)	
CQ8	血液腫瘍に対して入院中に造血幹細胞移植が行われる予定の患者に対し (P)、化学療法・造血幹細胞移植の前後に作業療法 (患者教育を含む) を行うと (E)、行わない場合に比べて (C)、骨髄移植の効果 (生着までの期間、生着率、入院期間、健康関連寿命、生命予後、QOL) を改善することができるか? (O)	
CQ9	同種造血幹細胞供与者 (ドナー) に対し (P)、造血幹細胞採取の前後に作業療法を行うと (E)、行わない場合に比べて (C)、身体合併症 (嘔吐、嘔気、食欲不振、全身倦怠、その他) あるいは廃用症候群の発症を減らすことができるか? (O)	
CQ10	血液腫瘍に対して入院中に造血幹細胞移植が行われる予定の患者に対し (P)、化学療法・造血幹細胞移植の前後に精神的リラクゼーション (音楽や園芸などを媒体とする介入) を行うと (E)、行わない場合に比べて (C)、副作用としての拒絶反応や GVHD の発症を抑えることができるか? (O)	

CQ11	血液腫瘍に対して入院中に造血幹細胞移植が行われる予定の患者に対し(P)、化学療法・造血幹細胞移植の前後に精神的リラクゼーション(音楽や園芸などを媒体とする介入)を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、骨髄移植の効果(生着までの期間、生着率、入院期間、健康関連寿命、生命予後、QOL)を改善することができるか?(O)	
CQ12	同種造血幹細胞供与者(ドナー)に対し(P)、造血幹細胞採取の前後に精神的リラクゼーション(音楽や園芸などを媒体とする介入)を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、身体合併症(嘔吐、嘔気、食欲不振、全身倦怠、その他)あるいは廃用症候群の発症を減らすことができるか?(O)	
小項目	CQ	担当委員
当該入院中に骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者又は行われた患者		佐浦 隆一(大阪医科大学)
CQ1	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し(P)、化学療法の前後に運動療法を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、副作用としての骨髄抑制の発症(易感染性、貧血、出血傾向)を抑えることができるか?(O)	
CQ2	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し(P)、化学療法の前後に運動療法を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、化学療法の効果(腫瘍に対する効果、緩解導入、入院期間、健康関連寿命、生命予後、QOL)を改善することができるか?(O)	
CQ3	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し(P)、化学療法の前後に運動療法を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、身体合併症(嘔吐、嘔気、食欲不振、脱毛、全身倦怠、その他)あるいは廃用症候群の発症を減らすことができるか?(O)	
CQ4	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し(P)、化学療法の前後に物理療法を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、副作用としての骨髄抑制の発症(易感染性、貧血、出血傾向)を抑えることができるか?(O)	
CQ5	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し(P)、化学療法の前後に物理療法を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、化学療法の効果(腫瘍に対する効果、緩解導入、入院期間、健康関連寿命、生命予後、QOL)を改善することができるか?(O)	
CQ6	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し(P)、化学療法の前後に物理療法を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、身体合併症(嘔吐、嘔気、食欲不振、脱毛、全身倦怠、その他)あるいは廃用症候群の発症を減らすことができるか?(O)	
CQ7	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し(P)、化学療法の前後に作業療法(患者教育を含む)を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、副作用としての骨髄抑制の発症(易感染性、貧血、出血傾向)を抑えることができるか?(O)	
CQ8	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し(P)、化学療法の前後に作業療法(患者教育を含む)を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、化学療法の効果(腫瘍に対する効果、緩解導入、入院期間、健康関連寿命、生命予後、QOL)を改善することができるか?(O)	
CQ9	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し(P)、化学療法の前後に作業療法(患者教育を含む)を行うと(E)、行わない場合に比べて(C)、身体合併症(嘔吐、嘔気、食欲不振、脱毛、全身倦怠、その他)あるいは廃用症候群の発症を減らすことができるか?(O)	
CQ10	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し(P)、化学	

	療法の前後に精神的リラクゼーション（音楽や園芸などを媒体とする介入）を行うと（E）、行わない場合に比べて（C）、副作用としての骨髄抑制の発症（易感染性、貧血、出血傾向）を抑えることができるか？（O）	
CQ11	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し（P）、化学療法の前後に精神的リラクゼーション（音楽や園芸などを媒体とする介入）を行うと（E）、行わない場合に比べて（C）、化学療法の効果（腫瘍に対する効果、緩解導入、入院期間、健康関連寿命、生命予後、QOL）を改善することができるか？（O）	
CQ12	骨髄抑制を来しうる化学療法が行われる予定の患者に対し（P）、化学療法の前後に精神的リラクゼーション（音楽や園芸などを媒体とする介入）を行うと（E）、行わない場合に比べて（C）、身体合併症（嘔吐、嘔気、食欲不振、脱毛、全身倦怠、その他）あるいは廃用症候群の発症を減らすことができるか？（O）	
<b>小項目</b>	<b>CQ</b>	<b>担当委員</b>
	在宅進行がん、末期がん患者が症状増悪のため再入院した際に在宅再復帰を目的としたリハビリテーションが必要な患者	水落 和也（横浜市立大学附属病院）
<b>項目 1</b>	<b>1. 在宅進行がん、末期がん全般</b>	
CQ1	再入院した在宅末期がん患者に対し（P）、運動療法を行うと（E）、運動療法を行わないのに比べて（C）、入院期間を短縮するか（O）	
CQ2	再入院した在宅末期がん患者の運動機能低下に対し（P）、運動療法を行うと（E）、運動療法を行わないのに比べて（C）、運動機能を改善するか（O）	
CQ3	再入院した在宅末期がん患者の呼吸困難に対し（P）、呼吸リハビリテーションを行うと（E）、呼吸リハを行わないのに比べて（C）、呼吸機能、呼吸困難の症状を改善するか（O）	
CQ4	末期がん患者の疲労に対し（P）、運動療法を行うと（E）、運動療法を行わないのに比べて（C）、疲労の症状を改善するか（O）	
CQ5	再入院した在宅末期がん患者に対し（P）、作業療法を行うと（E）、作業療法を行わないのに比べて（C）、ADL改善率が高いか（O）	
CQ6	再入院した在宅末期がん患者の疼痛に対し（P）、理学療法・作業療法を含むリハビリテーションを行うと（E）、リハビリテーションを行わないのに比べて（C）、疼痛緩和効果が高いか（O）	
CQ7	再入院した在宅末期がん患者の疼痛に対し（P）、物理療法・徒手療法を行うと（E）、物理療法・徒手療法を行わないのに比べて（C）、疼痛緩和効果が高いか（O）	
CQ8	再入院した在宅末期がん患者に対し（P）、リハビリテーションチームアプローチを行うと（E）、チームアプローチを行わないのに比べて（C）、患者のQOLが向上するか（O）	
CQ9	再入院した在宅末期がん患者に対し（P）、リハビリテーションチームアプローチを行うと（E）、チームアプローチを行わないのに比べて（C）、家族のQOLが向上するか（O）	
CQ10	再入院した在宅末期がん患者に対し（P）、リハビリテーションチームアプローチを行うと（E）、チームアプローチを行わないのに比べて（C）、家族の介護負担が軽減するか（O）	
CQ11	再入院した在宅末期がん患者の栄養障害に対し（P）、摂食嚥下療法及び運動療法を行うと（E）、摂食嚥下療法及び運動療法を行わないのに比べて（C）、栄養状態は改善するか（O）	

CQ12	再入院した在宅末期がん患者のうつ状態に対して (P)、作業療法・レクリエーション療法を行うと (E)、薬物療法のみ行ったのに比べて (C)、うつ状態は改善するか (O)	
項目 2	<b>2. 緩和リハ (疼痛) (田沼先生追加選定分)</b>	
CQ1	疼痛を有するがん患者に物理療法 (マッサージ・温熱療法・寒冷療法・電気刺激など) をおこなうと、おこなわない場合に比べて疼痛が緩和するか?	
CQ2	疼痛を有するがん患者に運動療法 (ポジショニング・関節可動域訓練・筋力増強訓練・持久力訓練) をおこなうと、おこなわない場合に比べて疼痛が緩和するか?	
CQ3	疼痛を有するがん患者に装具療法をおこなうと、おこなわない場合に比べて疼痛が緩和するか?	

## 資料5：文献検索（MEDLINE検索式）

総論・疫学・評価			
Set	Items	Description	説明
S1	1840538	DC=C4./MAJ (NEOPLASMS)	対象疾患
S2	223374	RH/DF+REHABILITATION!	介入
S3	6989	S1*S2	対象疾患×介入
S4	5330	S3/HUMAN,ENG	
S5	1360	ACTIVITIES OF DAILY LIVING!+(ADL+ACTIVIT?(2N)DAILY(2N)(LIVING+LIFE))/TI	評価・アウトカム
S6	1368	QUALITY OF LIFE+(QOL+Q(O)L+LIFE()QUALIT?)/TI	
S7	647	(PHYSICAL? OR SYSTEMIC?)(3N)(PERFORMANC? OR STATU? OR STATE? OR FUNCTION?) OR WELL()BEING? OR FUNCTION?(3W)STATU?	
S8	301	SURVIVAL RATE!+SURVIVAL ANALYSIS!+LIFE EXPECTANCY!+(SURVIVAL(2N)(TIME?+RATE?+CURVE?)+KAPLAN(2N)MEIER+LIFE(2N)EXPECTANC?)/TI	
S9	2300	S5:S8	
S10	521	(ASSESS? OR EVALUAT?)(4N)METHOD?+(ASSESS? OR EVALUAT?)/TI	
S11	1622	IMPROV? OR EFFICIEN? OR EFFICAC? OR USEFUL? OR EFFECTIV?	
S12	104	S5:S7(4N)S11	
S13	275	(SURVIV? OR LIFE)(4N)S11	
S14	154	S11/TI	
S15	928	S10+S12:S14	
S16	635	S4*S9*S15	
S17	286	S16*(S2/MAJ+REHA?/TI)	
S18	287	S16*(S9/MAJ+S9/TI)	
S19	431	S17:S18	総論

1章：食道がん、肺がん、縦隔腫瘍、胃がん、肝臓がん、胆嚢がん、膵臓がん又は大腸がんと診断され、当該入院中に閉鎖循環式全身麻酔によりがんの治療のための手術が行われる予定の患者又は行われた患者

Set	件数	検索式	説明	
S1	31579	ESOPHAGEAL NEOPLASMS!	対象疾患	
S2	140673	LUNG NEOPLASMS!		
S3	62767	STOMACH NEOPLASMS		
S4	11012	MEDIASTINAL NEOPLASMS!		
S5	104096	LIVER NEOPLASMS!		
S6	6190	GALLBLADDER NEOPLASMS		
S7	44216	PANCREATIC NEOPLASMS!		
S8	117502	COLORECTAL NEOPLASMS!		
S9	298956	S1:S8/HUMAN,ENG		
S10	1164	THORACOTOMY!		手術×疾患
S11	3853	LAPAROTOMY+CELIOTOMY+LAPAROTOMY+ABDOMINAL(SURGERY+OPERAT?)		
S12	15145	S1(L)SU+THORACIC SURGERY!+THORACIC SURGICAL PROCEDURES!		
S13	18782	S9*S10:S12	介入	
S14	571	REHABILITATION!+RH/DF		
S15	65	BREATHING EXERCISES!+(LUNG+PULMONY+RESPIRAT?)(2N)REHABIL?		
S16	409	SMOKING CESSATION!		
S17	22	ABDOMY(2N)RESPIRAT?		
S18	232	SPIROMETRY!		
S19	24	(SWALLOWY+BREATH?)(2N)(TRAINY+EXERCISE?)		
S20	4	BREATH?(2N)ASSIST?		
S21	1	DRAINAGE, POSTURAL+POSTUR?(3N)(DRAINAGY+OSCILLAT?)		
S22	3568	BRONCHOSCOPY+BRONCHOSCOP?		
S23	89	POSITIVE-PRESSURE RESPIRATION!+POSITIV?(2N)(EXPIRATY+AIRWAY)(2N)PRESSU EARLY		
S24	40	AMBULATION+(EARLY+ACCELERATED)(2N)(AMBULATIONY+MOBILIZATION?)		
S25	80	(PHYSICAL+ENDURAN?)(2N)(FITNESS+EXERCISY+TRAIN?)		
S26	175	REPOSITIONY+SQUEEZINGY+TURNINGY+VIBRATION?		
S27	3	(SPUTUMY+PHLEGM?)(2N)(CLEARY+DISCHARG?)		
S28	5123	S14:S27		アウトカム
S29	3083	RESPIRATION DISORDERS!(L)CO+DEGLUTITION DISORDERS!+SWALLOWING(DISORDERY+DYSYPHAGIA		
S30	2831	HOSPITALIZATION!+(LENGTHY+DURATY+TIMEY+PERIOD?)(3N)(STAYY+HOSPITALY)+RETURN?(3N)HOMEY+LENGTH OF STAY!+(DISCHARG?(2N)(HOSPITAL+HOSPITALIZATION)+HOSPITALIZATION)(2N)RATE? ?		
S31	5	PNEUMONIA! AND		
S32	2998	QUALITY OF LIFE+QOL+QO(L+LIFE)QUALIT?		
S33	1	(TIME+LENGTHY+DURATION?)(4N)(PHYSICAL+STAMINA+SINEW)(4N)(REGENERATY+RECOVERY+REGAIN?)		
S34	580	ATELECTASYS		
S35	0	HUFFING		
S36	100	COUGHING		
S37	9210	S29:S36	1章	
S38	226	S13*S28*S37		



2章：舌がん、口腔がん、咽頭がん、喉頭がん、その他頸部リンパ節郭清を必要とするがんにより入院し、当該入院中に放射線治療若しくは閉鎖循環式全身麻酔による手術が行われる予定の患者又は行われた患者

Set	件数	検索式	説明	
S1	201839	'HEAD AND NECK NEOPLASMS'	対象疾患	
S2	7207	TONGUE NEOPLASMS!		
S3	46873	MOUTH NEOPLASMS!		
S4	21758	PHARYNGEAL NEOPLASMS!		
S5	21430	LARYNGEAL NEOPLASMS!		
S6	7327	LYMPHATIC		
S7	133901	S1:S6/HUMAN.ENG		
S8	611	TRACHEOTOMY!+TRACHEOTOMY	手術・介入	
S9	328	PHARYNGOESOPHAGOPLAST?+PHARYNGOPLAST?+ESOPHAGOPLAST		
S10	967	TOTAL(1W)LARYNGECTOMY		
S11	2716	NECK DISSECTION!+CERVICAL( ) (NODE?+LYMPH? ) ( ) DISSECT?		
S12	20828	RADIOTHERAPY!+RT/DF		
S13	16437	DT/DF+ANTINEOPLASTIC AGENTS!+ANTINEOPLASTIC COMBINED CHEMO-THERAPY		
S14	3699	DEGLUTITION DISORDERS!+DYSPHAGIA		
S15	35	ARTICULATION DISORDERS!+ARTICULATION( ) DISORDER?		
S16	2	ACCESSORY NERVE DISEASES!*(PALSY+PARALYSIS)+ACCESSORY( ) NER-VE( ) (PA		
S17	1	TRAPEZIUS(2N)(PALSY+PARALYSIS)		
S18	2	PHYSICAL( ) FITNESS?		
S19	440	MALNUTRITION!+MALNUTRITION?		
S20	37665	S8.S19	アウトカム	
S21	56	(FEEDING+EATING+SWALLOWING)(2N)TRAINING+DEGLUTITION(L)RH		
S22	3	ARTICULAT?(2N)(TRAINING+REHABIL?+EXERCISE?)		
S23	5	PALATAL(2N)AUGMENTATION(2N)PROSTHESIS		
S24	0	'PROSTHESES AND IMPLANTS'*PALATAL(2N)LIFT+PALATAL(2N)LIFT(-2N)PROS		
S25	120	DEGLUTITION DISORDERS!(L)(RA+RI)+VIDEOFLUOROGRAPHIC( ) EXAMINATION*		
S26	150	ENDOSCOPY!*DEGLUTITION DISORDERS!(L)DI+VIDEOFIBEROPTIC( ) ENDOSCOPIC( ) EVALUATION*(SWALLOW?+DEGLUTITION?)		
S27	166	ARTIFICIAL(2N)LARYNX		
S28	2	ALTERNATIVE(2N)(SPEECH?+VOICE?)		
S29	281	TRACHEOESOPHAGEAL FISTULA!+TRACHEOESOPHAGEAL( ) FISTULA		
S30	104	SPEECH, ALARYNGEAL!*TRACHEOESOPHAGEAL?+TRACHEOESOPHAGEAL(2-N)(SPEE		
S31	37	SPEECH, ALARYNGEAL!*SHUNT?+SHUNT(2N)SPEECH?		
S32	44	EXERCISE THERAPY!+EXERCISE!+THERAP?(2N)EXERCISE?		
S33	75	GASTRIC FISTULA!+GASTR?(2N)FISTULA+GASTROSTOMA		
S34	323	SHOULDER JOINT!+SHOULDER?+HUMERAL?+SHOULDER!		
S35	76	S34(4N)(MORBIDITY+MOTION?+FUNCTION?+DISABILITY)+(ROM+EXCURSION?+R		
S36	982	S21:S33+S34*S35		
S37	668	S7*S20*S36		対象疾患×介入×アウトカム
S38	185	S7/MAJ*S20*(S36/MAJ+S36/TI)		2章

3章：乳がんにより入院し、当該入院中にリンパ節郭清を伴う乳房切除術が行われる予定の患者又は行われた患者で、術後に肩関節の運動障害等を起こす可能性がある患者

Set	件数	検索式	説明
S1	173224	BREAST NEOPLASMS!	対象疾患
S2	30028	(BREAST NEOPLASMS!+LYMPHEDEMA!)(L)(SU+RT)	
S3	4610	(NECK OR CERVICAL?)(3N)(LYMPHADENECTM? OR LYMPH? AND (RESE-CT? OR DISSECT?)) AND NEOPLASMS!	
S4	3547	AXILLA!*(LYMPH NODE EXCISION!+LYMPH(NODE)EXCISION?)+(AXIL-LARY+ARMPIT)(LYMPH(NODE)DISSECT?+CLEARANCE?)	
S5	27940	LYMPH NODE EXCISION!	
S6	6062	SENTINEL LYMPH NODE BIOPSY!+SENTINEL(LYMPH(NODE)BIOPSY	
S7	34296	S1(L)SU+MASTECTOMY!+MASTECTOM?	
S8	186600	RADIOTHERAPY!+RT/DF	
S9	28668	S1*S2:S8/HUMAN,ENG	
S10	480	REHABILITATION!+RH/DF	
S11	200	DC=(E2.831.+H2.403.680.600.+N2.421.784.)	
S12	35	(REDUCED+RESTRICT?+LIMIT AT?)(2N)(SHOULDER(2N)(FUNCTION?+MO-TION?+USAGE)+MOVEMENT?)	
S13	280	PHYSICAL THERAPY MODALITIES!	
S14	17	(DRAINAGE/DF+LYMPH(2N)DRAINAGE?)*LYMPHEDEMA(L)PC	
S15	4	(RANGE(1W)MOTION+ROM+EXCURSION?)(2N)(EXERCISE?+TRAINING)	
S16	3	MUSCLE STRETCHING EXERCISES!+MUSCLE(2N)(STRENGTH?(2N)(EXER-CISE?+TRAINING)+STRENGTHENING)	
S17	66	MASSAGE!+MASSAGE?(+ELASTICITY+ELASTIC+COMPRESSIO N?+TIGHT()-BAND? ?)(2N)(GARMENT?+HOSE+PANTYHOSE+STOCKING?+BANDAGE ?+SLEEV-E?)	
S18	317	S10:S11/MAJ+S17	アウトカム
S19	142	(SHOULDER JOINT!+SHOULDER?+HUMERAL?)(4N)(MORBIDITY+MOTION?- +FUNCTION?+DISABILITY)+(ROM+EXCURSION?+RANGE OF MOTION, ARTIC-ULAR!)	
S20	32	(MUSCLE+MUSCULAR?)(1N)(FORCE?+STRENGTH?+POWER)+(U SE+USAGE)-(1N)FREQUENCY	
S21	20	SHOULDER PAIN!+SHOULDER(PAIN?	
S22	105	LYMPHEDEMA(L)PC+LYMPHEDEMA(3N)PREVENT?	
S23	120	ACTIVITIES OF DAILY LIVING!+ADL+ACTIVIT?(1N)DAILY(LIVING-+LIFE)	
S24	1006	QUALITY OF LIFE+QOL+Q(O)L+LIFE(1N)QUALIT?	
S25	2109	PREVENTION?+(SHOULDER PAIN!+LYMPHEDEMA(L)PC	
S26	1259	POSTOPERATIVE COMPLICATIONS!+POSTOPERATIVE(2N)COMPLICATION?	
S27	5480	'OUTCOME ASSESSMENT (HEALTH CARE)!+OUTCOME?+WOUND HEALING-/DF+WOUND HEALING	
S28	8479	S19:S27	対象×介入×アウトカム
S29	43	PHYSIOTHERAPIST?+THERAPIST?	
S30	132	S1(L)SU*S9*S18*S28	3章
S31	43	S9*S29	
S32	163	S30:S31	

4章：骨軟部腫瘍又はがんの骨転移に対して、当該入院中に患肢温存術若しくは切断術、創外固定若しくはピン固定等の固定術、化学療法又は放射線治療が行われる予定の患者又は行われた患者

Set	件数	検索式	説明	
S1	16739	SOFT TISSUE NEOPLASMS!	骨軟部腫瘍	
S2	16575	BONE NEOPLASMS!(L)SC/DF	転移性骨腫瘍	
S3	813	LIMB(2N)(SPARING+PRESERVAT?)	介入	
S4	29260	AMPUTATION!+AMPUTATION		
S5	1801046	DT/DF+ANTINEOPLASTIC AGENTS!+ANTINEOPLASTIC PROTOCOLS!		
S6	186600	RADIOTHERAPY!+RT/DF		
S7	65221	ORTHOPEDIC EQUIPMENT!+CORSET?+BRACE?		
S8	19259	BISPHOSPHON?+ALENDRON?+ETIDRON?+PAMIDRON?+INCADRON?+BISPHONAL?+CLODRON?+IBANDRON?+RISEDRON?+OLPADRON?+MINODRON?+ZOLEDRO-N?+DIPHOSPHONATES!		
S9	24636	CALCITONIN		
S10	136967	FIXATION		
S11	259105	RH/DF+REHABILITATION!+REHA?		リハビリテーション
S12	297565	SURVIVAL RATE!+SURVIVAL ANALYSIS!+LIFE EXPECTANCY!+SURVIVAL(2N)(TIME?+RATE?+CURVE?)+KAPLAN(2N)MEIER+LIFE(2N)EXPECTANC?		アウトカム
S13	181861	LENGTH OF STAY!+(DURATION+LENGTH(2N)STAY+TIME+PERIOD)(2N)(HOSPITAL+HOSPITALIZATION)+HOSPITALIZATION+HOSPITALIZATION!-OR (LENGTH? OR DURAT?)(3N)(STAY? OR HOSPITAL?) OR RETURN?(3N)-HOME?		
S14	4070	(DISCHARG?(2N)(HOSPITAL+HOSPITALIZATION)+HOSPITALIZATION)(-2N)RATE? ?		
S15	2735	(WALK?+AMBULATOR?)(2N)(ABILIT?+CAPACIT?)		
S16	46871	ACTIVITIES OF DAILY LIVING!+ADL+ACTIVIT?(2N)DAILY(2N)(LIVING+LIFE)		
S17	86012	QUALITY OF LIFE+QOL+Q(OL+LIFE)QUALIT?		
S18	2663	(AMPUTAT?+TRANSECT?+SECTION?+SEVER?)(2N)SITE		
S19	313189	(SURGICAL?+OPERAT?+AMPUTATION?)(2N)(METHOD?+PROCEDURE?+TECHNIQUE?)		
S20	7414	FRACTURES, SPONTANEOUS!+FRACTURE?(2N)(SPONTANEOUS+PATHOLOGICAL)		
S21	176	IMPEND?(2N)FRACTURE?		
S22	12871	FRACTURES, BONE(L)PC/DF+BONE(2N)(PROTECT?+PREVEN?+PROPHYL-		
S23	1711	PARALYSIS!(L)PC/DF+(PARALYSIS?+PALS?)(2N)(PROTECT?+PREVEN-?+PROPHYLAX?)		
S24	881678	S12:S23		
S25	48	S1*S11*S24	→骨軟部腫瘍×リハ×入院期間等アウトカム	
S26	35	S25/HUMAN.ENG	→転移性骨腫瘍×リハ×入院期間等アウトカム	
S27	91	S2*S11*S24		
S28	80	S27/HUMAN.ENG	→転移性骨腫瘍×病的骨折、切迫骨折/ti.maj×リスク因子、予測	
S29	754	S2*(S20+S21)		
S30	1854993	PREDICT?+PROGNOSTIC?+RISK?+ODDS?+HAZARD?+RISK!		
S31	166	S29*S30		
S32	137	S31/HUMAN.ENG		
S33	59	S32*(S20/TI+S20/MAJ+S21/TI)		
S34	80	S28 NOT S26		
S35	53	S33 NOT (S26+S34)		
S36	168	S26+S34+S35		4章

5章：原発性脳腫瘍又は転移性脳腫瘍の患者であって、当該入院中に手術若しくは放射線治療が行われる予定の患者又は行われた患者

Set	Items	Description	説明	
S1	121351	CENTRAL NERVOUS SYSTEM NEOPLASMS!	対象疾患	
S2	1532749	RT/DF OR RADIOTHERAPY! OR SU/DF OR NEUROSURGICAL PROCEDURES!		
S3	40322	S1*S2		
S4	30589	S3/HUMAN,ENG		
S5	223118	RH/DF OR REHABILITATION!	対象疾患×リハ	
S6	131	S4*S5		
S7	304939	COGNITIVE? OR DYPHASI? OR GAIT? OR LOCOMOT? OR WALK? OR FUNCTION?(3N)(PROGNOS? OR IMPAIR?) OR TRANSFER?(3N)ACTIVITY?	介入・アウトカム	
S8	46871	ACTIVITIES OF DAILY LIVING!+ADL+ACTIVIT?(2N)DAILY(2N)(LIVING+LIFE)		
S9	86012	QUALITY OF LIFE+QOL+Q(O)L+LIFE()QUALIT?		
S10	162625	HOSPITALIZATION! OR (LENGTH? OR DURAT? OR TIME? OR PERIOD?)(3N)(STAY? OR HOSPITAL?) OR RETURN?(3N)HOME? OR LENGTH OF STAY! OR (DISCHARG?(2N)(HOSPITAL+HOSPITALIZATION)+HOSPITALIZATION)(2N)RATE? ?		
S11	28392	MALIGNAN?(5N)BENIGN?		
S12	114711	(MASS? OR TUMOR? OR TUMOUR? OR LESION?)(4N)(SIZE? OR LARGE? OR SMALL?)		
S13	91840	CARE(3N)(SUPPORT? OR SERVICE?)		
S14	15690	PUSH()UP? OR PARAPLEGI?		
S15	63605	ORTHOSIS? OR ORTHOPEDIC EQUIPMENT! OR		
S16	50663	DEGLUTITION DISORDERS! OR SWALLOW? OR DEGLUTITI? OR ORAL(3N)FEEDING?		
S17	6163	ASPIRAT?(3N)PNEUMONI?		
S18	10710	TRANSCUTANEOUS ELECTRIC NERVE STIMULATION! OR TENS OR (TRANSCUTANE? OR TRANSDERM?)(4N)STIMULAT?		
S19	139140	SEIZURE? OR EPILEPS? OR EPILEPSY!		
S20	1938494	DT/DF OR ANTINEOPLASTIC AGENTS! OR ANTINEOPLASTIC PROTOCOLS! OR RT/DF OR RADIOTHERAPY!		
S21	159736	(ADJUVANT? OR NEOADJUVAN? OR POSTOPERAT? OR PERIOPERAT? OR PREOPERAT?)(4N)(THERAP? OR TREAT? OR CHEMOTHE? OR RADIOTHE? OR CHEMORADIO? OR RADIOCHEMO?)		
S22	16259	GAMMA()(RADIAT? OR RADIOTHE? OR IRRADIAT? OR KNIFE?)		
S23	7984	CEREBROVASCULAR DISORDERS!(L)RH		
S24	22822	BONE NEOPLASMS!(L)SECONDARY OR BONE?(3N)METASTA?		
S25	96	S6*(S7+S8+S9+S10+S11+S12+S13+S14+S15+S16+S17+S18+S19+S21+S22+S23+S24)		5章